

評価対象 良質な個別サービスの実施(老人福祉施設版)

【評価項目】		a	b	c	Na	判断の理由
1 生活環境						
(1)生活環境が適切に整備されている。						
1	利用者の生活空間への配慮がなされている。					多床室ではあるが、カーテンやパーテーションで個人の空間を確保できるよう整備しており、利用者の馴染みのものを入れる個人用の戸棚を設置するなどの工夫が見られたので、a評価とした。
2	利用者のプライバシーを保護するような設備上の工夫がなされている。					利用者個人のスペースは交叉カーテンやパーテーションで仕切られており、また排泄介助などは複数の職員で関わらないように努めるなど利用者のプライバシーに配慮した取り組みがなされており、a評価とした。
3	利用者にくつろぎを与えるための工夫がなされている。					各ユニット毎に食堂を兼ねたコーナーを設置し、そこにテレビやソファ、観葉植物、CDや雑誌等を置いて、複数の利用者がくつろぐことができる工夫がなされていたので、a評価とした。
2 コミュニケーション						
(1)利用者とのコミュニケーションが円滑に保たれている。						
4	コミュニケーションについて、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。					利用者の状態をアセスメントし、ケアプランの中に個別のコミュニケーション方法が明示されている。また、職員に対しては、毎朝の引継ぎ時にあいさつの言葉を復唱するなど、接遇マニュアルに沿ったコミュニケーションスキルの向上を日頃から心がけていることが職員のヒアリングから確認できたので、a評価とした。
3 移動						
(1)必要な利用者に対する移動の支援が適切に行われている。						
5	移動(移乗を含む)について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。					利用者個々の状態に応じた移動や移乗の介助方法がケアプランの中に明記されており、理学療法士の指導による職員研修を毎月実施していることから判断して、a評価とした。
4 食事						
(1)必要な利用者に対する食事の支援が適切に行われている。						
6	食事(栄養管理含む)について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。					支援が必要な利用者に対して栄養ケア計画が策定され、定期的にモニタリングも実施されていたが、食事形態や治療食等の対応が十分とはいえなかったので、b評価とした。
(2)快適な食事環境の整備に配慮している。						
7	利用者の嗜好を把握し、それに応じたメニューが提供されている。					管理栄養士により個別の嗜好調査が実施されており、給食会議には利用者が参加するなど利用者の希望を取り入れる取り組みがなされていると判断し、a評価とした。
8	利用者が食事を楽しむことができるような工夫をしている。					毎日の食事時には音楽を流すなどゆっくり食事ができる雰囲気作りをしており、誕生会には家族も一緒に食事ができるように工夫をしていることから判断して、a評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
5 入浴(清拭を含む)						
(1)必要な利用者に対する入浴・清拭の支援が適切に行われている。						
9	入浴・清拭について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な実施方法が明示されている。					支援が必要な利用者に対して、入浴マニュアルに基づいた利用者ごとの介助方法がケアプランの中に明示されていたので、a評価とした。
(2)入浴・清拭時の安全性やプライバシーを確保するための取り組みを行っている。						
10	入浴・清拭時のプライバシーへの配慮がなされている。					入浴マニュアルに具体的な介助方法が明示されており、また浴室の仕切りが2重になっていることや、利用者とも顔なじみである入浴専門の介護員が配置されていることなどから判断して、a評価とした。
11	入浴・清拭時の安全や快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。					一般浴を利用者の状況に応じた3種類の浴槽に分けており、入浴の安全を確保するために滑り止めや手すりの設置などにも十分配慮されていたので、a評価とした。
6 排泄						
(1)必要な利用者に対する排泄の支援が適切に行われている。						
12	排泄について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づき個別・具体的な実施方法が明示されている。					支援が必要な利用者に対して、排泄介助マニュアルに基づいた利用者ごとの介助方法がケアプランに明示されていたので、a評価とした。
(2)排泄時の安全性やプライバシーを確保するための取り組みを行っている。						
13	排泄時のプライバシーへの配慮がなされている。					排泄介助マニュアルに具体的な方法が明示されており、入り口の扉やカーテンなどプライバシーに配慮された取り組みが見られたので、a評価とした。
14	排泄時の安全や快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。					トイレ内には手すりが備え付けられ、便座ウォーマーや消臭剤の設置、居室には安定型のポータブルトイレを設置されるなど、安全性や快適性に配慮しており、a評価とした。
7 整容						
(1)利用者の身だしなみや清潔保持が適切に行われている。						
15	身だしなみや清潔保持について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づく個別・具体的な実施方法が明示されている。					誕生会には本人の意向に基づく化粧をし、衣類は本人の好みのものを着るなど、支援が必要な利用者の具体的な方法がケアプランに明示されていたので、a評価とした。
(2)利用者の理・美容が適切に行われている。						
16	利用者の理・美容について、支援が必要な利用者のサービス実施計画に基づく個別・具体的な実施方法が明示されている。					理容ボランティアによる定期的な散髪その他、希望時の支援を実施するなど、利用者一人ひとりの具体的な方法がケアプランに明示されていることが確認できたので、a評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
8 相談等の援助						
(1)利用者からの相談に適切に対応している。						
17	利用者からの多様な相談に積極的に対応している。					利用者懇談会での相談の他、利用者の担当職員による個別相談、あるいは相談内容により生活相談員や施設長自らが対応するなど、積極的な取り組みがなされていたので、a評価とした。
18	利用者の精神面に着目した支援を行っている。					利用者一人ひとりに対する精神面における支援方法をケアプランの中に明示しており、閉じこもりや意欲低下、健康面への不安などに対して精神的賦活を目的とした支援を行っていることが職員のヒアリングにおいて確認できたので、a評価とした。
(2)家族や友人等とのつながりに配慮している。						
19	家族、友人等との関係を把握しているとともに必要な支援を行っている。					利用者個別の家族・友人との関係は、アセスメントやケアプラン作成時において把握し、家族への連絡の支援や外出や外泊を積極的に促していることが書面等で確認できたので、a評価とした。
9 機能回復等への支援						
(1)利用者の機能の回復等に向けた支援が適切に行われている。						
20	利用者の機能訓練に関する個別、具体的な実施方法が明示されている。					利用者ごとの残存能力をアセスメントし、理学療法士指導の下、個別機能訓練計画が策定され、それに基づいた支援が行われていることが確認できたので、a評価とした。
(2)利用者の余暇活動や学習に対する支援が適切に行われている。						
21	利用者の余暇活動(アクティビティ)や生きがいづくりなどに対する支援が行われている。					ケアプランの中に利用者一人ひとりの余暇活動や生きがいづくりの具体的方法が明示され、園の行事への参加や、書道やちぎり絵、カラオケなどのクラブ活動、個別でのお墓参りへの引率など、多種多様な支援が行われていることが書面等で確認できたので、a評価とした。